平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月7日

上場会社名　川澄化学工業　　上場取引所　東
コード番号　7703　URL　http://www.kawasumi.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 川野　幸博
問合せ先責任者 (役職名) 管理部長　(氏名) 岡本　稔　TEL 03-5769-2600
四半期報告書提出予定日　平成24年2月7日
配当支払開始予定日　—
四半期決算補足説明資料作成の有無　:　有
四半期決算説明会開催の有無　:　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	23,086	△3.9	1,635	△14.7	1,451	△20.1	△674	—
23年3月期第3四半期	24,020	3.7	1,917	△17.1	1,817	△20.9	1,163	△14.2

(注)包括利益　24年3月期第3四半期　△1,590百万円　(—%)　23年3月期第3四半期　536百万円　(—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	△29.52	—
23年3月期第3四半期	50.87	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第3四半期	39,523	29,913	75.1	1,298.81
23年3月期	41,318	31,864	76.5	1,382.69

(参考) 自己資本　24年3月期第3四半期　29,701百万円　23年3月期　31,619百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	7.50	—	7.50	15.00
24年3月期	—	7.50	—		
24年3月期(予想)				—	—

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　:　無
平成24年3月期期末配当金は未定とさせていただいております。

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)
平成24年3月期の連結業績予想につきましては、現時点では未定のため記載しておりません。なお、当該理由等は、添付資料の3ページをご覧ください。

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無

新規 ―社 （社名） 、 除外 ―社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年3月期3Q	22,948,003 株	23年3月期	22,948,003 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	80,066 株	23年3月期	79,781 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	24年3月期3Q	22,868,011 株	23年3月期3Q	22,871,306 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定および業績予想のご利用にあたっての注意事項等は添付資料の3ページをご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 9
（５）セグメント情報等 …… 9
（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 10
（７）重要な後発事象 …… 10

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当社グループでは、2011年３月期より「Create New Values for the Customers」をテーマとする３ヵ年の中期経営計画をスタートさせ、将来にわたって持続的に成長できる企業を目指して活動を行なっております。

販売面では、事業戦略として「グローバル展開の推進」を掲げ、海外での販路拡大を行なってまいります。重点市場は、人口増加や経済発展にともない医療需要が拡大しているアジア・新興国市場と捉え、新たな販売拠点の設置も検討してまいります。欧州につきましては、ソブリンリスクの上昇やユーロ通貨の下落はあるものの医療機器への需要は減退しないと考え、駐在員事務所を設立し、マーケティング活動に取り組んでおります。また、営業スタイルを専門性と情報力を高めたものに変革しながら、顧客密着度を上げてまいります。

生産面では、これまで培ってきた医療機器、医薬品の「作る技術」を全体的に底上げし、品質とコスト両面において国際的な競争力を確保する取組みを実行してまいります。

研究開発面では、先端医療技術へのアプローチを積極的に行なうために、当社の基幹領域である「血液及び血管内」に調査探索の重点を置き、海外に人材を派遣して調査探索活動や国内外の外部機関との共同研究を推進するなど、先端医療機器の研究開発を強化してまいります。

当第３四半期連結累計期間では、タイ国で大規模洪水が発生したことにより、タイ国生産子会社のナワナコーン工場（パトゥムタニ県ナワナコーン工業団地内）が浸水の影響により、操業を停止しております。平成23年12月より復旧作業に着手しており、平成24年４月頃の生産再開を目途に取り組んでおります。

当第３四半期連結累計期間の経営成績については以下のとおりです。

＜売上高＞

売上高は、タイ国産ダイアライザーや生理食塩液が売上を伸ばしたものの、タイ国で発生した洪水によりタイ国生産子会社のナワナコーン工場が操業を停止した影響や円高による為替のマイナス影響を受けたこと等で、前年同期に比べ９億33百万円減の230億86百万円（前年同期比3.9％減）となりました。国内・海外別の売上高につきましては、国内売上高は、前年同期に比べ１億65百万円減の176億91百万円（同0.9％減）、海外売上高は、前年同期に比べ７億68百万円減の53億94百万円（同12.5％減）となりました。

＜売上総利益・営業利益＞

売上総利益は、合理化などによるコスト低減はあるものの、国内工場での設備投資にともなう減価償却費の増加、洪水によるタイ国生産子会社の操業停止の影響や為替のマイナス影響等により、前年同期に比べ４億78百万円減の75億86百万円（同5.9％減）となりました。なお、売上原価率は、前年同期に比べ0.7ポイント上昇し、67.1％となっております。

また、販売費及び一般管理費は、運送費や研究開発費等の減少により、前年同期に比べ１億96百万円減の59億51百万円（同3.2％減）となりました。

これにより、営業利益は、前年同期に比べ２億82百万円減の16億35百万円（同14.7％減）となりました。

＜経常利益＞

営業利益が減少したことおよび為替差損を計上したこと等により、経常利益は、前年同期に比べ３億65百万円減の14億51百万円（同20.1％減）となりました。

＜四半期純損失＞

タイ国で大規模洪水が発生したことにより、当社およびタイ国生産子会社において特別損失を17億28百万円計上したことにより、６億74百万円の四半期純損失（前年同期は11億63百万円の純利益）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①血液及び血管内関連

タイ国で発生した洪水により生産子会社の工場が操業を停止した影響で海外向け血液バッグおよび米国向け輸液セットの販売が減少したこと、国内の献血者数の減少により国内向け血液バッグの販売が減少したこと等により、売上高は、前年同期に比べ５億99百万円減の99億73百万円（同5.7％減）、セグメント利益は、前年同期に比べ３億17百万円減の12億36百万円（同20.4％減）となりました。

②体外循環関連

タイ国産ダイアライザーの販売が増加しましたが、円高による為替のマイナス影響を受けたことやタイ国で発生した洪水影響により透析用血液回路の販売が減少したこと等により、売上高は、前年同期に比べ３億35百万円減の131億12百万円（同2.5％減）、セグメント利益は、前年同期に比べ１億24百万円減の３億32百万円（同27.2％減）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第３四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ17億94百万円減の395億23百万円となりました。

流動資産は、主として現金及び預金の増加により、３億91百万円増の235億57百万円となりました。

固定資産は、主として機械装置及び運搬具の減少により、21億86百万円減の159億66百万円となりました。

流動負債は、主として仮受金（仮払保険金の受取額）の増加により、１億89百万円増の70億98百万円となりました。

固定負債は、主として負ののれんの減少により、33百万円減の25億11百万円となりました。

純資産は、主として利益剰余金の減少により、19億50百万円減の299億13百万円となりました。

これらの結果、自己資本比率は75.1％となり、前連結会計年度末と比べ1.4ポイント減少しました。

②キャッシュ・フローの状況

当第３四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前年同期に比べ10億95百万円増の88億86百万円となりました。

当第３四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの内容は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により得られたキャッシュ・フローは、前年同期に比べ11億49百万円増の33億55百万円となりました。主な内容は、減価償却費18億18百万円であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により支出したキャッシュ・フローは、前年同期に比べ１億11百万円増の20億23百万円となりました。主な内容は、有形固定資産の取得による支出20億３百万円であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により支出したキャッシュ・フローは、前年同期に比べ２億90百万円減の３億59百万円となりました。主な内容は、配当金の支払いによる支出３億40百万円であります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成23年12月９日にナワナコーン工場の水が引き、工場内の清掃・消毒等の復旧作業に着手しました。

ナワナコーン工場では、医療機器・医薬品を製造するためのクリーンルーム等の設備を復旧させるため一定の期間を要することもあり、平成24年４月頃の生産再開を目途に取り組んでおります。

タイ国の洪水被害に関して、財物損害保険および利益保険を付保しており、今後確定する保険金が特別利益に計上されることで、たな卸資産および固定資産の損失ならびにタイ国子会社の休業補償等の特別損失は補填されるものと考えております。保険金の受取金額および時期が未確定のため、通期連結業績予想につきましては、現時点では不明とさせていただいております。確定次第、速やかにお知らせいたします。

２．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成23年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,059	8,898
受取手形及び売掛金	8,218	8,376
商品及び製品	3,358	3,284
仕掛品	939	736
原材料及び貯蔵品	1,556	1,449
その他	1,034	813
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	23,166	23,557
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,313	6,132
機械装置及び運搬具（純額）	4,268	3,405
その他（純額）	4,448	2,713
有形固定資産合計	14,030	12,251
無形固定資産		
のれん	252	198
特許等実施権	233	158
その他	322	287
無形固定資産合計	807	643
投資その他の資産		
投資有価証券	2,191	1,768
その他	1,166	1,345
貸倒引当金	△43	△43
投資その他の資産合計	3,314	3,070
固定資産合計	18,152	15,966
資産合計	41,318	39,523
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,035	3,534
未払法人税等	577	25
仮受金	－	1,318
引当金	298	53
その他	2,996	2,166
流動負債合計	6,908	7,098
固定負債		
退職給付引当金	1,889	1,909
負ののれん	50	33
その他	604	567
固定負債合計	2,545	2,511
負債合計	9,453	9,609

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成23年12月31日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,642	6,642
資本剰余金	6,462	6,462
利益剰余金	20,811	19,793
自己株式	△55	△56
株主資本合計	33,859	32,841
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△102	△208
繰延ヘッジ損益	△0	－
為替換算調整勘定	△2,137	△2,932
その他の包括利益累計額合計	△2,240	△3,140
少数株主持分	245	212
純資産合計	31,864	29,913
負債純資産合計	41,318	39,523

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）
売上高	24,020	23,086
売上原価	15,954	15,499
売上総利益	8,065	7,586
販売費及び一般管理費	6,148	5,951
営業利益	1,917	1,635
営業外収益		
受取利息	7	3
受取配当金	18	17
負ののれん償却額	16	16
持分法による投資利益	49	30
作業くず売却収入	40	36
その他	87	76
営業外収益合計	221	181
営業外費用		
支払利息	9	3
減価償却費	2	14
為替差損	253	264
その他	56	82
営業外費用合計	321	364
経常利益	1,817	1,451
特別利益		
固定資産売却益	6	1
投資有価証券売却益	110	3
特別利益合計	116	4
特別損失		
固定資産除売却損	24	14
投資有価証券評価損	46	318
災害による損失	－	1,728
その他	0	0
特別損失合計	71	2,062
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	1,862	△606
法人税、住民税及び事業税	576	155
法人税等調整額	108	△95
法人税等合計	685	59
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	1,177	△666
少数株主利益	13	8
四半期純利益又は四半期純損失（△）	1,163	△674

（四半期連結包括利益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	1,177	△666
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△156	△105
為替換算調整勘定	△484	△818
持分法適用会社に対する持分相当額	0	0
その他の包括利益合計	△640	△923
四半期包括利益	536	△1,590
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	561	△1,575
少数株主に係る四半期包括利益	△25	△15

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	1,862	△606
減価償却費	1,762	1,818
有形固定資産除却損	24	14
有形固定資産売却損益（△は益）	△6	△1
投資有価証券売却損益（△は益）	△110	△3
投資有価証券評価損益（△は益）	46	318
負ののれん償却額	△16	△16
引当金の増減額（△は減少）	△257	△165
受取利息及び受取配当金	△25	△20
支払利息	9	3
持分法による投資損益（△は益）	△49	△30
災害損失	－	1,545
売上債権の増減額（△は増加）	△452	△353
たな卸資産の増減額（△は増加）	△432	△330
仕入債務の増減額（△は減少）	130	615
その他	122	75
小計	2,605	2,863
利息及び配当金の受取額	63	14
利息の支払額	△8	△3
法人税等の支払額	△454	△842
法人税等の還付額	－	5
仮払保険金の受取額	－	1,318
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,205	3,355
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△13	－
定期預金の払戻による収入	280	－
有形固定資産の取得による支出	△2,168	△2,003
無形固定資産の取得による支出	△6	△29
有形固定資産の売却による収入	48	13
投資有価証券の売却による収入	54	3
その他	△105	△8
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,911	△2,023
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	△27	－
長期借入金の返済による支出	△250	－
自己株式の増減額（△は増加）	△4	△0
配当金の支払額	△343	△340
少数株主への配当金の支払額	△1	△2
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△22	△15
財務活動によるキャッシュ・フロー	△649	△359
現金及び現金同等物に係る換算差額	△242	△132
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△598	839
現金及び現金同等物の期首残高	8,389	8,046
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,791	8,886

（４）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（５）セグメント情報等
Ⅰ　前第３四半期連結累計期間（自平成22年４月１日 至平成22年12月31日）
１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	血液及び血管内関連（百万円）	体外循環関連（百万円）	合計（百万円）	調整額（百万円）（注）１	四半期連結損益計算書計上額（百万円）（注）２
売上高					
外部顧客への売上高	10,572	13,447	24,020	－	24,020
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－
計	10,572	13,447	24,020	－	24,020
セグメント利益	1,553	457	2,011	△93	1,917

（注）１．セグメント利益の調整額93百万円は、各報告セグメントに未配分の連結調整項目であります。
２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

３．地域に関する情報
前第３四半期連結累計期間（自平成22年４月１日 至平成22年12月31日）
売上高

米州（百万円）	欧州（百万円）	アジア・オセアニア（百万円）	その他（百万円）	計（百万円）
3,129	1,124	1,523	385	6,163

（注）１．地域の区分は、地理的近接度によっております。
２．各区分に属する主な内訳は次のとおりであります。
(1) 米　　州……米国、メキシコ　他
(2) 欧　　州……ドイツ、スペイン　他
(3) アジア・オセアニア……タイ、台湾　他
(4) そ　の　他……トルコ、サウジアラビア　他
３．海外売上高は、当社および連結子会社の本邦以外の地域における売上高であります。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間（自平成23年４月１日 至平成23年12月31日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	血液及び血管内関連（百万円）	体外循環関連（百万円）	合計（百万円）	調整額（百万円）（注）１	四半期連結損益計算書計上額（百万円）（注）２
売上高					
外部顧客への売上高	9,973	13,112	23,086	－	23,086
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－
計	9,973	13,112	23,086	－	23,086
セグメント利益	1,236	332	1,569	66	1,635

（注）１．セグメント利益の調整額66百万円は、各報告セグメントに未配分の連結調整項目であります。
２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

３．地域に関する情報

当第３四半期連結累計期間（自平成23年４月１日 至平成23年12月31日）

売上高

米州（百万円）	欧州（百万円）	アジア・オセアニア（百万円）	その他（百万円）	計（百万円）
2,647	840	1,543	362	5,394

（注）１．地域の区分は、地理的近接度によっております。
２．各区分に属する主な内訳は次のとおりであります。
(1) 米　　州……米国、メキシコ　他
(2) 欧　　州……ドイツ、スペイン　他
(3) アジア・オセアニア……タイ、台湾　他
(4) そ　の　他……トルコ、サウジアラビア　他
３．海外売上高は、当社および連結子会社の本邦以外の地域における売上高であります。

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

（７）重要な後発事象

該当事項はありません。